

## らじる★らじる

<http://nhk.jp/netradio>

### 今秋からスタート

#### 若い世代にも好評の理由とは!?

NHKラジオのキャラクター「らじる」。キャッチフレーズは「あ、ラジオ聞こ。」らじるは犬? うさぎ? と正体不明だが、最近Twitterを始めたそう。フォロワーの数も着々と増えているそうだ。10代の女の子のつぶやきも覗ける

NHKは、ラジオ放送をインターネットで同時にサイマル配信するサービス (IPサイマルラジオ)、NHK ネットラジオ「らじる★らじる」を国内限定で、9月1日からパソコン向けに、10月1日からスマートフォン向けに開始した。昨年12月には同様のサービス「radiko (ラジコ)」が株式会社radikoで本格スタートしており、さらに10月2日にはNHKおよび民放ラジオ各社が共同でキャンペーンを行うなど、ラジオ業界の動きに注目が集まっている。災害時に強いラジオという再評価が追い風となり、またスマートフォン世代にラジオの魅力が届くのか。「らじる★らじる」の制作、配信を担当するラジオセンターの松隈 天エグゼクティブ・プロデューサー、猪瀬泰美チーフ・ディレクター、編成局デジタルサービス部の岡本 隆専任部長に話を聞いた。



#### 目的は難聴取対策

— IPサイマルラジオの狙いを教えてください。

**松隈** NHKではラジオ第1放送 (R1)、ラジオ第2放送 (R2)、FM放送の3つを放送しています。R1では総合テレビと同じく一般総合番組を、R2では教育テレビと同じく教育・教養番組を、FMではあらゆるジャンルの音楽番組を放送しています。

R1とR2は中波放送のため、山間部や鉄筋コンクリート造りのマンションの室内では聞こえづらかったり、外国電波と混信するなどの現象が地域によって起こります。こうした国内における難聴取対策を目的に、ラジオ放送をインターネット経由で同時配信することを考えました。インターネットの環境が整っていれば、ノイズのない放送を聴いていただくことができます。パソコン (PC) 向けには9月1日から、スマートフォン向けには10月1日から国内限定で配信

をしています。

— この取材に、ラジオセンターと編成局から出席いただいています。

**松隈** 今回のプロジェクトは各部局が横断的にかかわっているのです。ラジオ放送はすべてラジオセンターが担当していると思われるのですが、ラジオセンターはR1を制作していて、ラジオセンター長はFMの権限も持っています。R2は編成局教育部の担当です。IPサイマルラジオの会議には、放送技術局のクロスメディア部や著作権部ほか、多くの部局が参加しています。

— 準備期間はどれくらいだったのですか。

**松隈** 総務省に申請を出したのが今年の春で、そこから立ち上げてほぼ半年です。



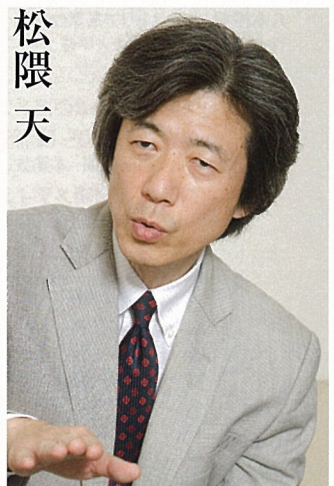
#### 2つのストリーミング方式でリーチ拡大

— ネットラジオの仕組みについて解説をお願いします。

**岡本** 今回、Flash MediaとWindows

Mediaの2つのストリーミング方式を採用しています。理由は、難聴取対策ですから、なるべく多くの手段で提供の方が良いということ。それと東日本大震災の時に両メディアで配信したところ、相当数の方がWindows Mediaを利用されていたからです。スマートフォン向けには、HLS(HTTP Live Streaming) というストリーミング方式を採用しました。放送との同時配信ですので、NHKでエンコードしたものを

NHKラジオセンター  
エグゼクティブ・プロデューサー



松隈 天